



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和3年6月21日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

～「水」の事故の防止について～

水深10センチでも子ども溺れる、京大実験…水路の幅狭いほど危険

「幼児児童生徒の河川水難事故防止について」は学校だより第14号で注意喚起を促しているところです。この度、京都大学の岡本教授らが実験結果を公表していますので参考までにお知らせします。

子どもが幅の狭い用水路や側溝に転落した場合、流れる水の深さが10センチ・メートル程度でも下流に流されたり、溺れたりする恐れがあるとする実験結果を、京都大のチームがまとめました。こうした狭い水路での水難事故が全国で相次いでいることから、研究チームは柵やふたの設置など適切な対策を取るよう呼びかけています。

京大の岡本隆明助教（防災水工学）らは、実験用水路と人体模型を使い、体が受ける水の力や水位の変化を調べました。身長1メートル20、体重23キロ・グラムの子どもの転落したと想定し、水の流れは一般的な降雨時の流速（毎秒0.5～2メートル）としました。

その結果、幅40センチの水路の底に座る格好で転落した場合、水深が十数センチで下流に流される恐れがあることが判明しました。水路の幅が狭いほど、体にせき止められた水で上流側の水位が高まり、押し流す力が増すことが分かりました。

また、上流側に頭を向けて寝そべった姿勢では、元々の水深が約10センチでも、頭の近くでは水位が約2倍に上昇します。口や鼻が水面下に沈んで溺れる危険性があることも明らかになりました。用水路や側溝では、子どもや高齢者らが転落して亡くなるケースが後を絶ちません。警察庁の統計では、こうした水難事故による死者・行方不明者は毎年50～80人前後に上るそうです。齋藤秀俊・水難学会会長は「狭い水路の危険性を数値で具体的に示した点で評価できる。水難事故の多くは身近な水辺で起きるため、各地域で水辺の状況に応じた対策を講じる必要がある」と評価しています。

日本人柔道家に海外感涙 負傷敗者にとつた“一流気遣い”